

年末年始に向けて、新型コロナウイルス感染症についてのお知らせです。

現在、新規感染者数は全国的に落ち着きを見せているようです。しかし、新たに「オミクロン株」という変異ウイルスの名前を報道などで聞くことが多くなってきました。県内ではオミクロン株による濃厚接触者が報告されています。

これまでの変異ウイルスと比較してみると、アルファ株よりはデルタ株が、さらにデルタ株よりはオミクロン株の方が感染力が強いと言われています。心配な重症化リスクについては、アルファ株は入院・重症化・死亡リスクが高く、デルタ株は入院リスクが高いという特徴がありましたが、オミクロン株については現時点で確かなことはわかっていません。気を緩めることなく、しっかりと気をつけていかなければならないと考えています。

こうした状況から、県は「新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けた無料 PCR 検査事業」を実施し、自分で唾液を採取する「PCR 検査キット」を無料で配布しています。

【対象者】三重県在住・在勤・在学・帰省予定の人で、いずれも無症状の人

【検査申込期間】2022（令和4）年2月10日（木）まで

【キット受取方法】郵送 ※三重県のホームページから申し込む

また、この「PCR 検査キット」を市内で受け取っていただく機会を設けますので、ぜひご利用ください。

【伊賀市役所 1 階ロビー】2022（令和4）年1月17日（月）・18日（火）

【ハイトピア伊賀 1 階ロビー】2022（令和4）年1月27日（木）・28日（金）

※いずれも午前10時～午後3時

さて、市内の新型コロナワクチン接種対象者の内、2回接種した人は86%を超えました。2回目の接種から日が経過し、3回目の接種についてご心配いただいている人もいらっしゃると思います。市の追加（3回目）接種のスケジュールについてお伝えします。

【対象者】伊賀市に住民票がある、2回目のワクチン接種終了後、原則8カ月以上経過している18歳以上の人 ※65歳以上の方は、2月以降1カ月前倒しして7カ月以上経過で接種可能

【使用するワクチン】ファイザー社製、または武田/モデルナ社製

【ワクチン接種の流れ】追加（3回目）接種対象者に順次接種券を送付

今回の案内は青い封筒に入れて発送しますので、封筒が届くのをお待ちください。接種券が届きましたら、同封のチラシに掲載の医療機関に予約をしてください。

県では「三重県指針 ver.14」を発表し、県民の皆さんに引き続き基本的な感染防止対策を呼びかけています。

- ・ マスク着用、手指消毒、換気などを徹底
- ・ 大人数や長時間に及ぶ飲食といった場面では、感染防止対策(マスク会食・黙食)を徹底
- ・ 「あんしん みえリア」認証店の積極的な利用を
- ・ ワクチン接種機会の積極的な活用を
- ・ ワクチン接種後も引き続き感染防止対策を
- ・ 県境を越える移動では感染防止対策を徹底
- ・ 帰省は混雑しない時期の移動を検討

市でも、独自に「感染防止対策実施店」ステッカーを交付しています。「あんしん みえリア認証店」、あるいは「感染防止対策実施店」のステッカーがあるお店は安心してご利用いただけます。

また、感染拡大を防ぐためには、私たち自身が感染に気をつけるということが何よりも大切です。もう何回もお願いしていることですが、これが新しい生活様式だということをご理解いただき、次の感染リスクが高まる5つの場面にご注意ください。

【場面1 飲酒を伴う懇親会等】

大声、回し飲み、箸の共用により感染リスクが高まります。

【場面2 大人数や長時間に及ぶ飲食】

大人数・長時間での飲食は、飛沫の感染リスクが高まります。たとえ屋外であってもリスクがありますので避けてください。

【場面3 マスクなしでの会話】

飛沫感染リスクが高まります。車中でも気をつけてください。

【場面4 狭い空間での共同生活】

長時間、閉鎖空間が共有されることで感染リスクが高まります。

【場面5 居場所の切り替わり】

休憩時間などに休憩室や喫煙ルームに行くなど、気の緩みや環境の変化が感染リスクになります。

十分注意していても、新型コロナウイルス感染症にかかったかもしれない、発熱や咳など心配な症状が出たということもあるかもしれません。そういうときには、まずかかりつけ医など身近な医療機関に電話で相談してください。かかりつけ医がない場合、または、年末年始の休業期間などは、受診・相談センターに相談をしていただき、案内された医療機関で受診いただくようお願いします。

【受診・相談センター（土日祝も対応）】

- ・ 午前9時～午後9時：伊賀保健所 電話 0595-24-8050
- ・ 午後9時～午前9時：三重県救急医療情報センター 電話 059-229-1199

年末年始期間中は、久しぶりに会う人と楽しい時間を過ごす機会もあると思います。ただし、再びの感染拡大を招かないためには、私たち一人ひとりが、気を緩めることなく基本的な感染防止対策を徹底する必要があります。オミクロン株、どうやら感染力は強そうです。皆さん、くれぐれも注意してください。

しっかりと私たちで防ぐ努力をしていきましょう。

2021（令和3）年12月27日

伊賀市長 岡本 栄